



平成 29 年 5 月 29 日

各 位

会 社 名 東亜建設工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 秋山 優樹
(コード番号 1885 東証第一部・札証)
問合せ先 管理本部総務部長 秦 智史
TEL.03-6757-3800

取締役会の実効性評価に関する評価結果の概要について

当社は、コーポレートガバナンス・コードに基づき、取締役会の実効性を高め、企業価値の向上を図ることを目的として、平成 28 年度の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

1. 評価の方法について

取締役 7 名（内、社外取締役 2 名）、監査役 4 名（うち、社外監査役 3 名）に対して、以下の項目を内容とする無記名方式のアンケートを実施し、回答を得ました。この回答結果に基づき、取締役会事務局が集計・分析を行い、取締役会において建設的な議論を重ね、課題の共有、今後の取組み方などについて確認いたしました。

《 アンケートの主な内容 》

- 取締役会の構成
- 議題の選定
- 取締役会の運営方法
- 取締役会を支える体制
- 攻めのガバナンス
- 守りのガバナンス
- アクションプランの策定

2. 分析・評価について

取締役会の規模・構成・運営方法・取締役会を支える体制については概ね適切であり、取締役会では、自由闊達で建設的な議論や意見交換が行われ、適切な意思決定がなされていることを確認いたしました。

一方で、個別具体的な議案に時間を費やす傾向にあり、中長期的な戦略や、リスクテイクとなる議案について、今まで以上に取締役会での審議を充実させることが重要との認識に至りました。

3. 今後の対応について

上記の分析・評価結果を踏まえ、当社における稟議、経営会議、取締役会の 3 つ意思決定の枠組みについて検討のうえ、取締役会に諮る議案の内容・基準について再度見直しを行い、取締役会の実効性をより高めるべく、企業価値の向上に繋がる審議の充実を図ってまいります。

以 上